

ご協力ありがとうございます！

【9月の寄付品】(敬称略)

大石大喜、園田法文、RKB、マベ、岡村美恵、堤慎一郎
馬場雄治、早良吹奏楽団

【新入会】

古川美希、桃崎祐介、Heliosz 株式会社

農場の研修風景

田んぼの畔に咲いていた真っ赤な彼岸花もだいぶ枯れ始め、センターの稲の収穫も終盤を迎えています。今年のお米の出来は恐らく平年並みで、特別台風の被害も少なかったため、まずまずの収穫量になるかと思えます。

オイスカがお米を作っている脇山地区は、昭和天皇が即位する際の「献上米」を作る場所選ばれたほど美味しいお米が穫れる地域で有名です。

話は変わりますが、つい先日、肥料用の米ぬかを取りに近くの米穀店に行ったのですが、そこの方が「この張り紙を見てちょうだい」と言われて見たところ、そこには「新米福岡産コシヒカリ 5kgで 1700円」とかいてありました。

一般の消費者の方にはこの値段について「普通でしょ」と思うでしょうが、新米のコシヒカリで最初からこの値段は厳しいなあと、生産者、お米屋さんと思うのです。

小麦をはじめ多くの物品が値上がりしている中で、お米の値段は下がっているという状況が続いています。

オイスカのお米はさきほど説明した通り、とても美味しい脇山産のお米なので、是非皆さんご利用ください。(豊田)

体験農園だより

9月10日(土)より令和4年度体験農園秋冬作後期が開始しました。参加組数は41組、うち3組は初参加。同日に行った開始式には10組が参加されました。開始式後には畑へ移動し、ダイコンの播種およびブロッコリー・キャベツの定植作業を行いました。10日(土)、11日(日)の二日間で約30組が畑へお越しください、作業を行われました。これからすくすくと秋冬野菜が育っていきますが、秋冬作で大変なのは虫の対策です。おいしいお野菜が収穫できるように参加者の皆様としっかり育てていきたいと思えます。(飯川)



開始式

畑での作業

10月の予定

- 1日 体験農園稲刈り大会
- 8日 脇山小学校稲刈り、佐賀推協料理交流
ガールスカウト宿泊研修
- 14日 ホテルオークラ研修
- 18日 九電生協宿泊研修(～20日まで)
- 21日 朝倉東高校環境セミナー
- 28日 佐賀議連視察交流会
- 29日 生松台3世代交流会フェスタ
- 30日 佐賀国際フェスタ(武雄)



鬼本大明神 今月の一句

人は生きて行くには、働かなければならない。どんな仕事でも働くだけでありがたいものであるけれども、できればいつも楽しい心をもって、その仕事がやれば幸せだ！どうせ働くなら楽しんで働けば損だ！常に威風堂々前を向いて進めろ！元気でいい気分を進めろ！確実にそして楽しく進めろ！働きすぎず！急がずに！仕事を労働と考えるな！自分の好きなことをやっていると言える自分の仕事を持つとうげじゃないか！それが自分の天職だ。それをやればうまくいくと感ぜられる仕事に出会いたいものだ。とにかく毎日楽しく、元気にやれたら最高の仕事人生じゃないか！！

脇山はぐくむ会キャンプファイヤー

8月28日(日)、当センターグラウンドにて脇山地区自治協議会様の主催で、キャンプファイヤーを行いました。地元の子どもたちもたくさん参加。点火式ではOB研修生リーさん(PNG)が紙製即席松明を持って、オリンピックの聖火リレーさながらの登場をして点火しました。その後は研修生による母国の踊りの披露や同会の皆様による打ち上げ花火で会場は盛り上がりました。研修生と地元の子どもたちと、共に夏休み最後の思い出作りになったのではないかと思います。(飯川)



まるごと!西日本



Instagram



facebook

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1

TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322

E-mail: oiscantc@oisca.org 検索 **オイスカ西日本**

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部

2022年10月号

日頃の様子を更新中!是非チェックお願いします!



九州電力主催「こらぼらQでん稲刈り大会」開催

9月24日(土)、一般参加者、ボランティア含めて120名ほどが参加して、今年初となる稲刈り大会が開催されました。10日ほど前に大きな台風が通過したものの、予想されていた被害も最小限に収まり、当日は晴天にも恵まれ、無事稲刈りを実施することが出来ました。参加者は家族連れの方が殆どで、子どもたちも慣れないカマを使って、一生懸命稲を刈ってくれました。稲刈りで汗を流した後は、センターに戻って美味しいカレーを振舞いました。

そして、研修生の帰国後のアクションプランの発表やダンスを披露して楽しいひと時を過ごしました。11月12日の収穫祭では、参加者の方に今回収穫したお米(1kg)をプレゼントするというので、皆さん楽しみにしている様子でした。(豊田)



参加者の皆さんと一緒に記念撮影

海外研修生稲刈り実習

9月14日、研修生は日本での稲刈りをしました。はじめにコンバインの操作を教え、その後一人一人コンバインで稲の刈り取りをしました。現在西日本研修センターには12ヘクタールの田んぼがあり、お米の品種は福岡奨励米、夢つくし・元気づくし・ひのひかりです。研修生は秋空の中、刈り取った籾をトラックに移す時には手に取り喜びを噛みしめていました。今年の新米をみなさん食べてみて下さい。(マルビン)



サンリブ(株)BUOMO 原店オープン!

この度サンリブ原店(福岡市早良区原)のオープンに伴い、農産物コーナーにはオイスカの朝どれ野菜や新米を販売していただいています。オープン初日からたくさんのお客様にお買い求めいただいております。お近くにお住まいの方や近くを通られた際にはお立ち寄りください。(満川)



オイスカ農産物コーナー



国道202号バイパス沿い

日本語のようす⑤

朝晩涼しくなり、秋を感じるこの頃ですが、研修生にとっては寒い日々が始まっているようです。12月に行われる日本語能力試験の申し込みも終了し、秋の夜長に勉強に励んでくれることでしょう。

Aクラスは、現在の実力を確認するために、日本語能力試験の模擬試験を行いました。その結果に悔しくて涙する研修生もいました。涙を力に変えて、頑張ってもらいたいです。また、11月には大野城市にて行われる日本語スピーチコンテストにも出場することになっています。4分ほどのスピーチを暗記しなければなりません。ただいま、練習中です。

Bクラスは、時間をかけて、「みんなの日本語Ⅰ」を勉強しています。同時に日本語能力試験対策の勉強も始めました。問題がわかるととてもうれしそうですが、1週間に1回の授業だけでは時間が足りないので、自主学习用教材を配布しています。自主学习、なかなか難しいですが、みんなで声を掛け合って頑張ってもらいたいです。がんばれ、研修生！（立石考子）

そばうち体験

なんと、研修生初体験のそば打ちを行いました。今年から、「福岡そばの会」様とコラボしてそば作りを行うことになりました。オイスカが借りしている畑の一部を使い、そばの種まきから収穫、そしてそば打ちで、その後食べるという流れです。当日は福岡そばの会会員8名が指導員となりセンター食堂にてそば打ちを体験。初めてでしたが、なぜか研修生達は器用で、指導もよかったです。見事にそばが打てました。もちろん初めての試食で、味も大好評。引き続き8月26日に種まきも行いました。既にそばの白い花が咲いて、11月には収穫ができるとの事。またみんなでそば打ちして、美味しいそばを食べたいところです。福岡そばの会の皆様、ありがとうございました。（廣瀬）



新スタッフ紹介

はじめまして。2022年2月までインドネシアへ駐在員として派遣されていたオイスカ本部海外事業部所属の中垣豊と申します。次の任国が決まるまでのあいだ、西日本研修センターでお世話になるべく9月初めにやってきました。これまでは研修生を派遣する立場でしたが、今回、逆に研修生を受け入れる国内センターの業務をお手伝いすることになり、学ぶことが大きいと感じております。いつまでこちらでお世話になるかは現時点では不明ですが、どうぞよろしくお願いいたします。



中垣 豊さん



中垣 アダさん

はじめまして！フィリピンのバゴ市出身の中垣アダと申します。私は2000年以来、インドネシアのオイスカプロジェクトへ派遣されておりましたが、今年の4月に日本へ戻ってまいりました。次の任国への派遣を待つ間、ここ西日本研修センターの活動をお手伝いさせていただくことになりました。研修センターでの生活は、私たちが長い年月をインドネシア各地から集まった青年たちと過ごしたスカブミ研修センターでの生活を思い出させることもあり、楽しいものです。現在の研修生たちは、日本の農業技術を一生懸命に学ぼうとしております。研修修了後、それぞれの母国に帰った研修生たちが、日本で学んだことを生かして活躍してくれることを期待しております。

私はミャンマーのティンです。8月に西日本センターに来ました。日本へ来るのは10年ぶりです。今回はセンターで職員としてきました。これから頑張りますので宜しくお願いいたします。



ティンさん



ジェレミーさん

みなさんこんにちは。フィリピンのジェレミーと申します。2010年から3年間沖縄で技能実習生でした。帰ってからオイスカヌエバエシハでスタッフをして、2020年2月1日から2022年1月19日まで西日本センターでOB研修をしました。今年の9月から西日本センターのスタッフになりました。スタッフになっていろいろ責任があると思いますが、これから3年間頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

アトリエ木下研修撮影会

9月30日、会員企業のアトリエ木下様により、海外研修生へ研修センター日課の撮影をしていただきました。研修生は早朝6時より農場で野菜の収穫、研修センターでは朝の点呼やジョギングを行い朝食をとり、9時から午前の研修がスタートして2人のフォトグラファーにより生活や研修の様子を撮影していただきました。アトリエ木下さんは毎年研修生をスタジオに招いて撮影していただくなど、数々のご支援をいただいています。今回撮影いただきました写真は海外研修生の記念アルバムとして贈呈をしていただきます。毎年ありがとうございます。（満川）



農産物の出荷準備



朝の点呼・国旗掲揚



芋掘り作業



日本語の様子

フリースクール玄海生徒海外研修へ出発

オイスカ会員のNPO法人塩浜学園フリースクール玄海(古賀市)生徒2名は9月22日にフィリピンのオイスカバゴ研修センター(ネグロス島)で3ヶ月間農業体験や語学を学ぶことになりました。フリースクールでは毎年生徒の宿泊農業体験を当研修センターで行っており希望する生徒は海外研修に参加をしています。パンデミックで2年間海外研修がストップしていましたが、今年から再開して生徒は元気に出発をしました。これから3ヶ月間頑張ってきて下さい。応援しますファイト！（満川）

翌日ネグロス島へ向かう為空港へ
於:オイスカ事務所 →



↑フィリピン到着日にマニラ事務所夕食



福岡アジアフィルムフェスティバル2022

アジアフィルムフェスティバルが9月22日から27日まで福岡市アジア美術館で行われました。今年は7ヶ国の映画が上映されご招待をいただきました。また会場受付ではオイスカの新鮮な加工品、アジアの民芸品やお菓子の販売をしていただき、期間中はたくさんの映画鑑賞来場者の方にお買い求めいただきました。この映画祭はオイスカ会員のシップス株式会社(代表取締役北村義弘様)の企画で毎年ご支援をいただいています。大変ありがとうございました。（満川）



福岡リパティライオンズクラブ
北村会長、菅沼幹事、古賀様



オイスカ農産物コーナー

早良高校体育祭

9月10日に早良高校の体育祭に参加しました。研修生は大縄跳び、20kgの俵をもつ競技などに参加しました。大縄跳びは事前に練習したスタイルと違う跳び方で研修生達はとまどっていましたが、なんとか跳べました。俵を持ち上げる競技は3人の研修生が参加し、フィジーのシティベニさんが一番長く持ち上げることができました。研修生達は学生がリレーや応援合戦を頑張っている様子を見て「頑張れー！」と声をかけて楽しんでいました。次は脇山校区の運動会を頑張らしましょう！（園田）



俵を持ち上げるシティベニさん(左)と応援する研修生(右)



オイスカ会員ご紹介(宮崎県推進協議会 見原隆明様)

オイスカ産業開発協力団の一員として、昭和47年にインド国に於ける第12次派遣団員として赴任をしました。その日がちょうど23才の誕生日でグループの中では最年少でした。インド離任後もアジアを転々として最後の派遣地はマレーシア国でした。赴任地帰国後はオイスカを退き38才の時に郷里諸塚村に定着し35年となり、あれから半世紀が過ぎ現在75才になりました。オイスカとの縁が切れてたわけでもなく、その後は火の車と成っていた家事を海軍讃歌の「月々・火・水・木・金々」の動きをする中で海外研修生や外務省外郭団体日本国際問題研究所研究員の受け入れ等、各国に於ける植林活動のお手伝いをしながらNGO日本代表としてパナマ運河返還式典に参加をしました。近年では外務省のタイに於けるNGO連携協力プロジェクトの日本代表という重責を任命され一期3年が完了して、令和3年度からは2期目がスタートしましたがコロナで渡航できず2年目に入っています。実家の方も古くなり築200年の住居を撤去し家業である自家原木を3年がかりで伐採し、コロナ第6波が始まるぎりぎり前に完成をしました。椎茸、林業、苗木作り、稲作それにお茶その他諸々百姓言葉がピッタリの営みをしてながら2年前にオイスカ会員として入会をさせていただきました。全てに感謝しながら、この先も死にもの狂いの日々が続くと気合を入れ直し、これからもオイスカ活動へ支援を続けていきますので宜しくお願いします。



見原さん



OBの紹介

今回紹介するOB研修生は、マレーシアのケイティさんです。ケイティさんは2019年(2019年4月~2020年3月)の研修生で、西日本センターでの研修期間中は、常に前向きで周囲のことを気遣うことが出来るお姉さんのような存在でした。いつも明るく活発なケイティさんは、マレーシアのサバ州に帰ってから何をしているのでしょうか。

◆国に帰ってから今まで何をしていましたか?→日本から帰って、2週間ぐらい家で休んで、家族といろいろ日本での経験を話しました。そして、2020年の3月からKPD-OISCA tenom 研修センターでボランティアをしました。ボランティアをしている間は、日本での経験について多くのことを研修生に紹介しました。今は、野菜栽培の先生になりました。私は多くの農業技術を教えながら、ロックメロンの栽培に焦点をあてて研修を進めています。ロックメロンを有機栽培でおこなって、より甘くなるように努力しています。

◆日本での思い出は何ですか?→日本での思い出はたくさんありますが、やっぱり農業の事が一番です。初めてミニトマトの栽培方法について勉強したことを今でも思い出します。

◆日本の料理で好きなものは何ですか?→一番好きな食べ物は「おにぎり」と「うどん」です。どうしてかというと美味しいからです。そしてどこでも買いやすく食べやすいです。帰国する時にセンターを出発する前に、食堂の先生がおにぎりをたべさせてくれたことを今でも思い出します。

◆これからの計画はありますか?→自分のふるさとで大きな畑をやりたいです。いろいろな野菜を植えます。そして、出来た野菜をお店や販売する人に出荷したいです。

◆オイスカのメンバーに一言お願いします。→オイスカメンバーの皆さんから、日本での研修期間中にサポートをいただき本当に感謝しています。もっとオイスカのメンバーが増えて、オイスカの活動が発展することをお祈りします。

ケイティさんは、今回の記事を作成する中で「私はいい農業の先生になりたいです」と話してくれました。いろいろ大変なこともあるでしょうが、持ち前の明るさでがんばってほしいと思います。



メロン



白い唐辛子



ケイティさん後列左



研修生の時のケイティさん